

エコインターンシップ報告

住友化学株式会社

2007年10月22日～11月2日

京都大学大学院 広瀬 淳哉

東京海洋大学大学院 浦井 泰奈

目次

1. エコインターンシップに参加した目的
2. 実施内容
3. 住友化学のPRTR戦略について
4. 大阪工場での取り組み
5. エコインターンシップを通して
6. 環境のことを考えて働くこと

1. エコインターンシップに参加した 目的

**企業の
環境対策**

- 実情とは？
- 経営と両立できるのか？
- 環境対策を行う目的は？



**エコインターンシップを通して
企業の環境対策を実際に目で見て
学びたい！！**

2. 実施内容

10 / 22	住友化学のレスポンシブル ケアの説明
10 / 23	PRTR戦略について CSRレポート編集会議
10 / 24	家庭部門での温暖化対策検討会
10 / 25	環境保全活動の概要
10 / 26	ISO14001の解説 工場各設備の見学 ISO14001監査会議見学
10 / 29	環境関連設備見学 PRTR拡散シミュレーション
10 / 30	各研究所・生産技術センター見学 PRTRデータベース
10 / 31	生物環境科学研究所の見学 ISO14001監査見学
11 / 1	トップRC診断会議見学
11 / 2	成果報告会

2. 実施内容

10 / 22	住友化学のレスポンシブル ケアの説明
10 / 23	PRTR戦略について CSRレポート編集会議
10 / 24	家庭部門での温暖化対策検討会
10 / 25	環境保全活動の概要
10 / 26	ISO14001の解説 工場各設備の見学 ISO14001監査会議見学
10 / 29	環境関連設備見学 PRTR拡散シミュレーション
10 / 30	各研究所・生産技術センター見学 PRTRデータベース
10 / 31	生物環境科学研究所の見学 ISO14001監査見学
11 / 1	トップRC診断会議見学
11 / 2	成果報告会

3. PRTR制度について

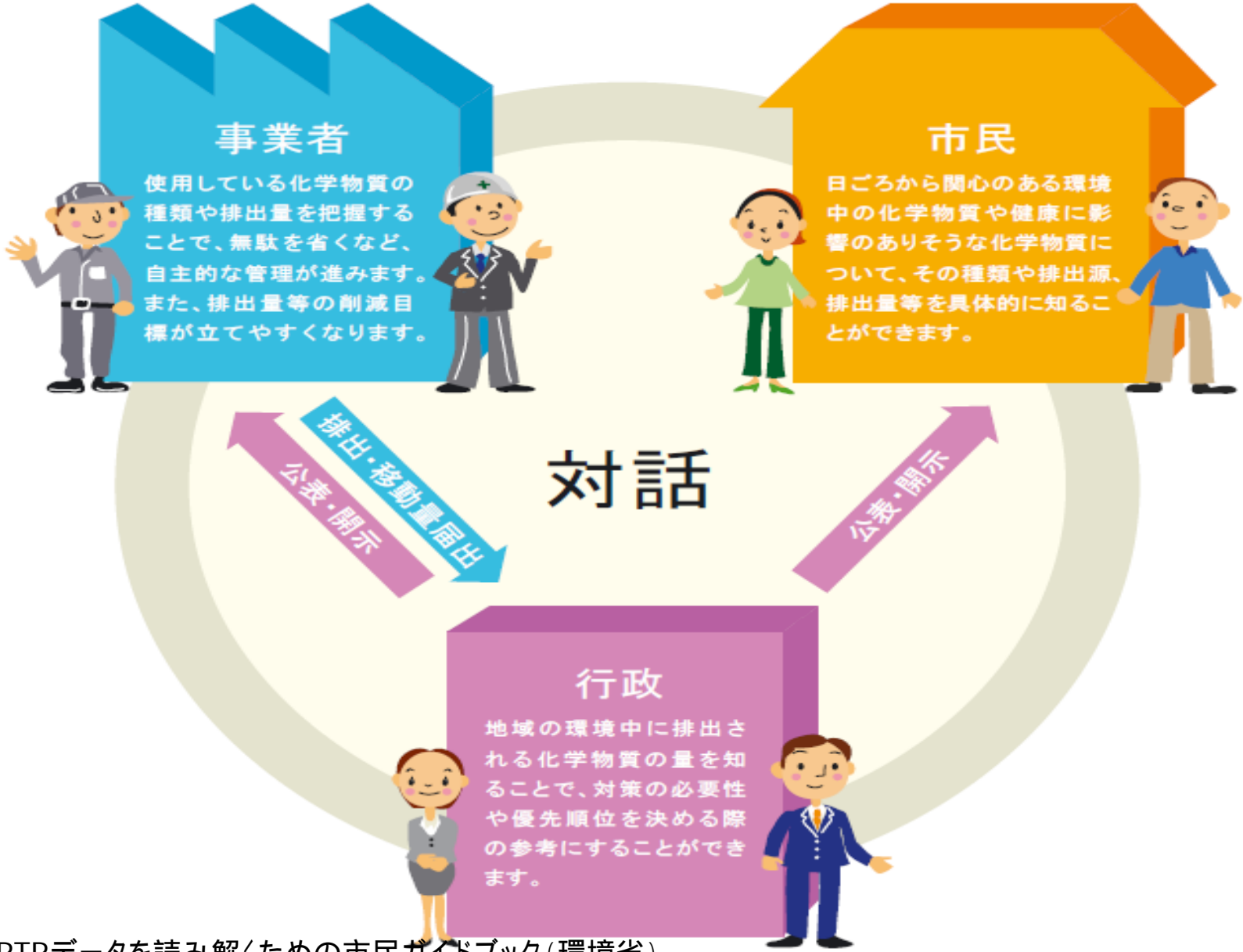
PRTR制度とは・・・

- Pollutant Release and Transfer Register
化学物質排出移動量届出制度

有害性のある多種多様な**化学物質**が、どのような**発生源**から、どれくらい環境中に**排出**されたか、あるいは**下水道**や**廃棄物**に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを事業所が届出し、国が把握・集計・公表する仕組み。

PRTRの基本構造

社会全体で化学物質対策を進める



出典：PRTRデータを読み解くための市民ガイドブック(環境省)

PRTRの基本構造

社会全体で化学物質対策を進める

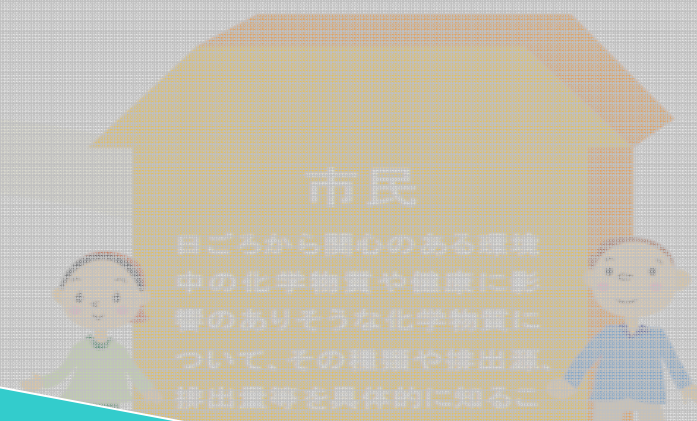
事業者

使用している化学物質の種類や排出量を把握することで、無駄を省くなど、自主的な管理が進みます。また、排出量等の削減目標を立てやすくなります。



市民

目ごろから関心のある環境中の化学物質や健康に影響のありそうな化学物質について、その種類や排出源、排出量等を具体的に知るこ



自主的な管理が必要！！

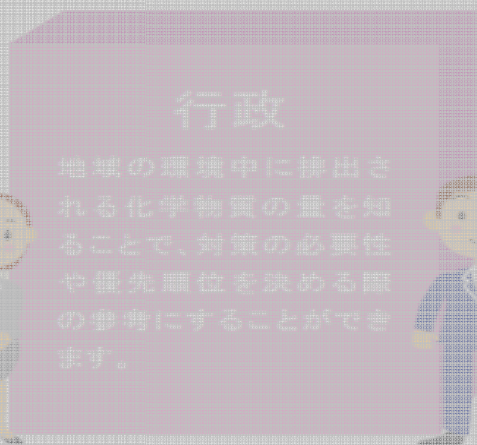
製品

排出量報告書
公表・開示

公表・開示

行政

地域の環境中に排出される化学物質の量を知ることによって、対策の必要性や優先順位を決める際の参考にすることができます。



住友化学のPRTR戦略

- 環境リスクに基づくリスク管理
- 排出量ランキング評価に基づく排出量管理
- 業界・地域と連携した排出量管理
- 環境負荷統合を活用する排出量管理



適正な化学物質管理の推進

住友化学のPRTR戦略

- **環境リスクに基づくリスク管理**
- 排出量ランキング評価に基づく排出量管理
- 業界・地域と連携した排出量管理
- 環境負荷統合を活用する排出量管理



適正な化学物質管理の推進

4. 大阪工場での取り組み

環境リスクに基づくリスク管理の実例

大気拡散シミュレーション(実習)

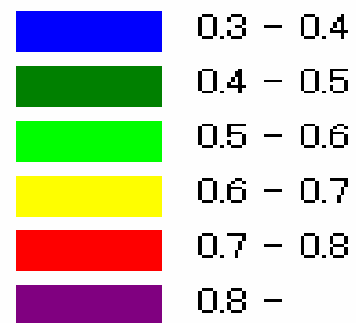
リスク評価・基準値の設定



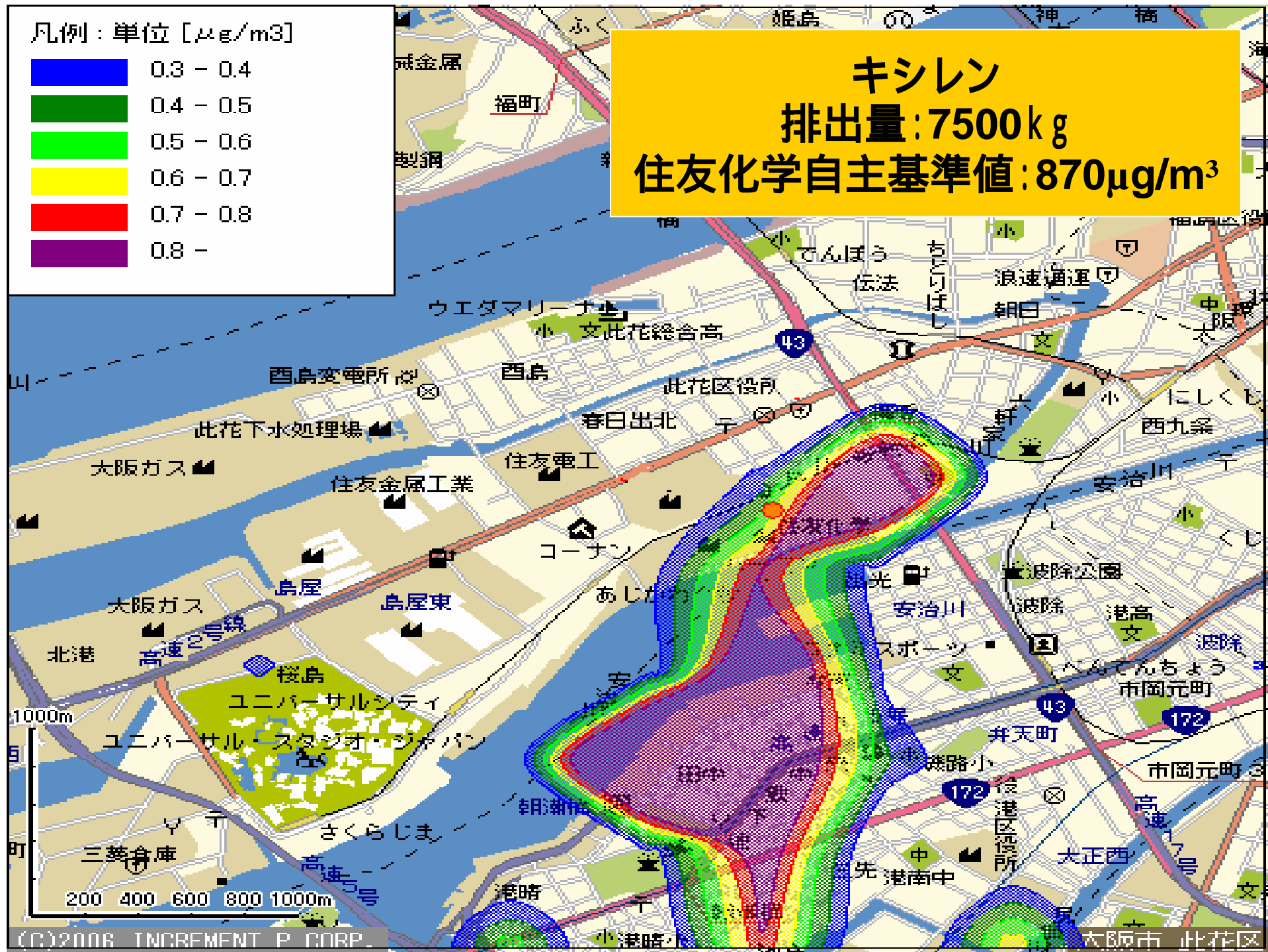
大気拡散シミュレーション

METI-LIS ver.2.03 (経済産業省)

凡例：単位 [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]



キシレン
排出量: 7500kg
住友化学自主基準値: $870\mu\text{g}/\text{m}^3$



リスク評価・基準値の設定



全物質について自主的な環境目標濃度の設定

生物環境科学研究所

リスク

= 危険有害性 × 暴露量 (体に取り込む量)

- 危険有害性評価
(例) 生態毒性試験
- 暴露評価



↓

リスク評価

→

**濃度低下の対策
排出量削減**

大阪工場での実習を終えて

- 大気拡散シミュレーション
- リスク評価・基準値の設定



自社での評価分析

**環境対策への積極性
リスク管理の徹底
地域への配慮**

5. エコインターンシップを通して

気づいたこと

工場と民家との距離が非常に近い



➡ 地域住民との対話(リスクコミュニケーション)

しかし…

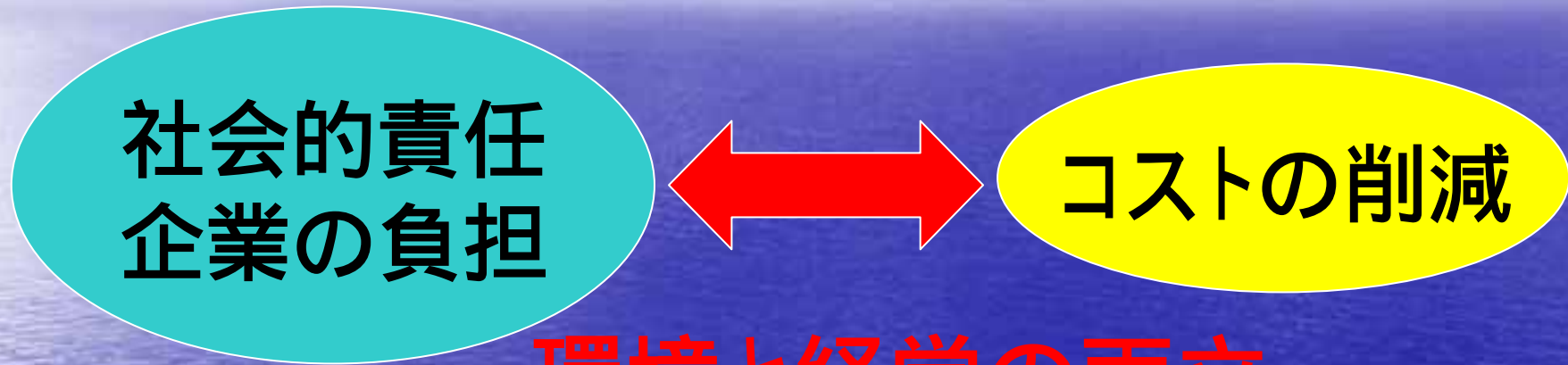
企業と市民の間の情報格差
関心が薄い



➡ **リスクコミュニケーションの質の向上**

➡ **企業の評価がアップ**

5. エコインターンシップを通して 企業の環境対策



環境と経営の両立

しかし・・・

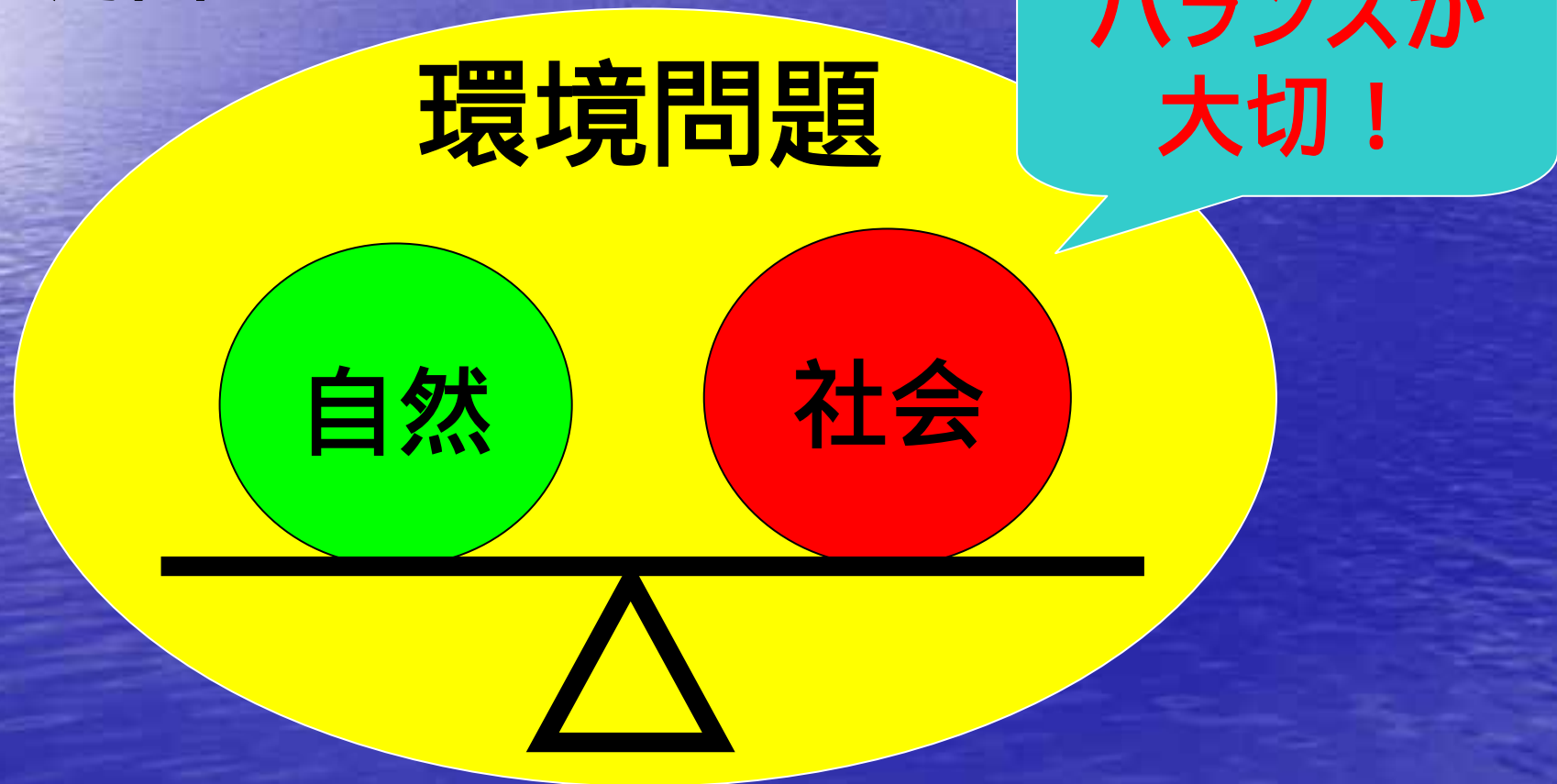
「**省エネ・省資源化**」に力を入れているが、まだまだコストが高い面もある。

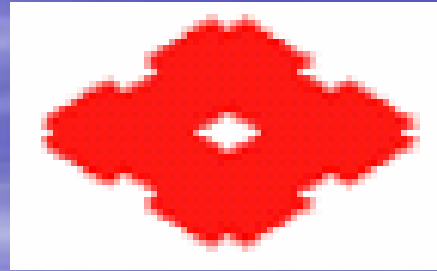
→ 環境対策の工夫が必要

6. 環境のことを考えて働くこと

環境を考えるとき...

- 様々な側面の知識・視野
- 周囲とのコミュニケーション





ご清聴ありがとうございました

